

幼児の生活と子育て意識 ～5年の変化～

ベネッセ次世代育成研究所では、2010年3月に、首都圏の未就学児をもつ保護者約3,500名を対象に「幼児の生活アンケート」を行いました。ここでは、園児の生活習慣や保護者の要望を中心に紹介します。園だよりや保護者会などでの話題提供の資料としてご活用ください。

今回ご紹介するデータの調査概要

調査名 第4回幼児の生活アンケート

調査テーマ 乳幼児の生活の様子、保護者の子育てに関する意識と実態

調査対象

第3回調査 (2005年調査)

首都圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) の0歳6ヵ月～6歳就学前の乳幼児をもつ保護者2,980名 (配布数7,200通、回収率41.4%)

第4回調査 (2010年調査)

首都圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) の0歳6ヵ月～6歳就学前の乳幼児をもつ保護者3,522名 (配布数7,801通、回収率45.1%)

※いずれも分析対象は、1歳6ヵ月～6歳就学前の乳幼児をもつ保護者

調査方法 郵送法 (自記式アンケートを郵送により配布・回収)

調査時期 第3回調査 2005年3月 第4回調査 2010年3月

備考 ※調査項目は経年比較が可能なように配慮した。

引用・掲載する際のお願い

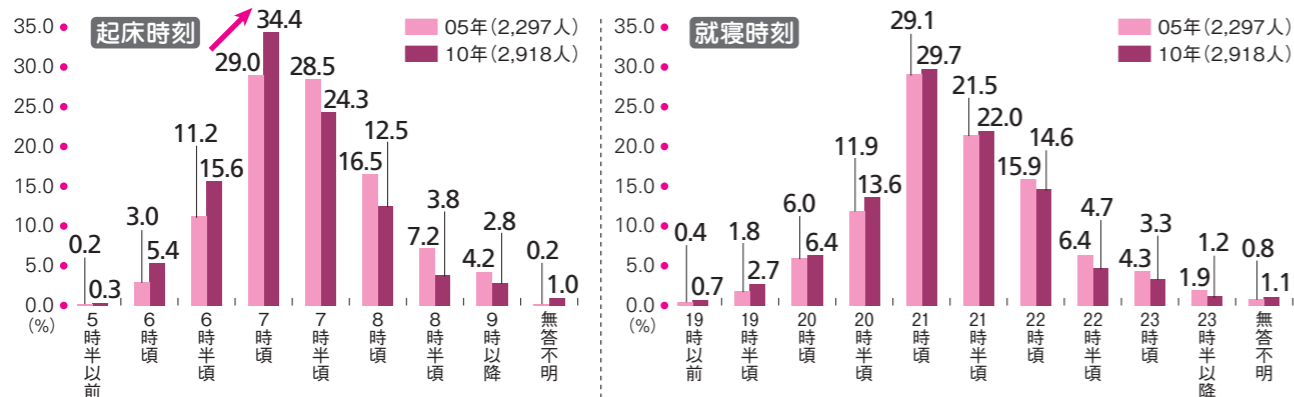
本調査の結果を引用される際には「ベネッセ次世代育成研究所「第4回幼児の生活アンケート」と記載してください。

詳細の結果はベネッセ次世代育成研究所ホームページをご覧ください。
<http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/>

早寝早起きの傾向が進んでいる

Q お子さまは平日、何時頃に起きますか。夜、何時頃に寝ますか。

図1 起床時刻・就寝時刻



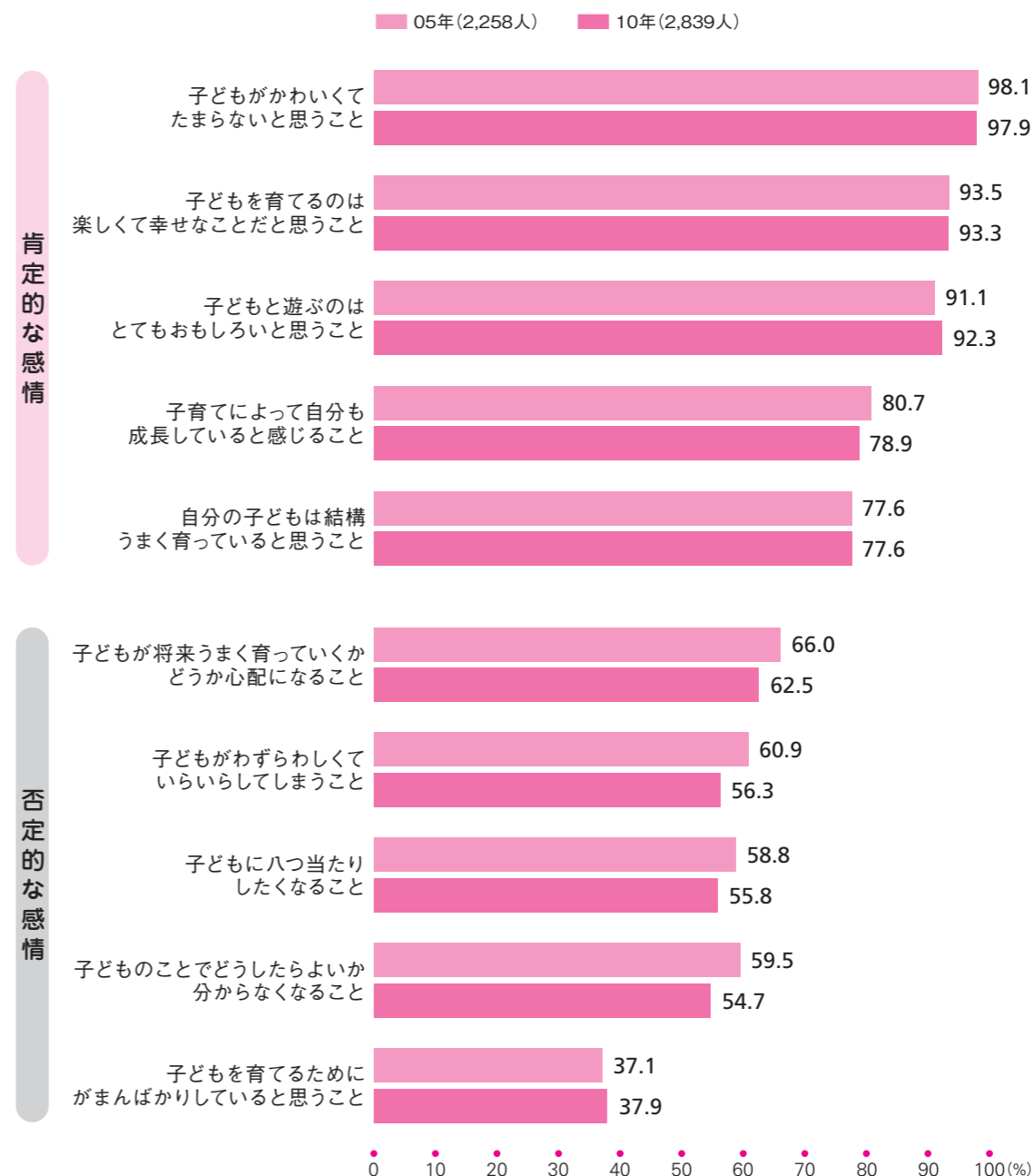
★平日の起床時刻を聞いたところ、2010年は約80%の子供が7時半頃までに起床し、また約75%の子供が21時半頃までに就寝することがわかりました。5年前と比べると、

7時半頃までに起床する子供が約8ポイント、21時半頃までに就寝する子供が約4ポイント増えており、早寝早起きの傾向が進んでいます。

子育てへの不安感、5年前より減少傾向にある

Q あなたは最近、子育てについて次のようなことを感じになることがありますか。

図2 母親の子育て意識



注1 「よくある」+「ときどきある」の%。 注2 母親の回答のみ分析。

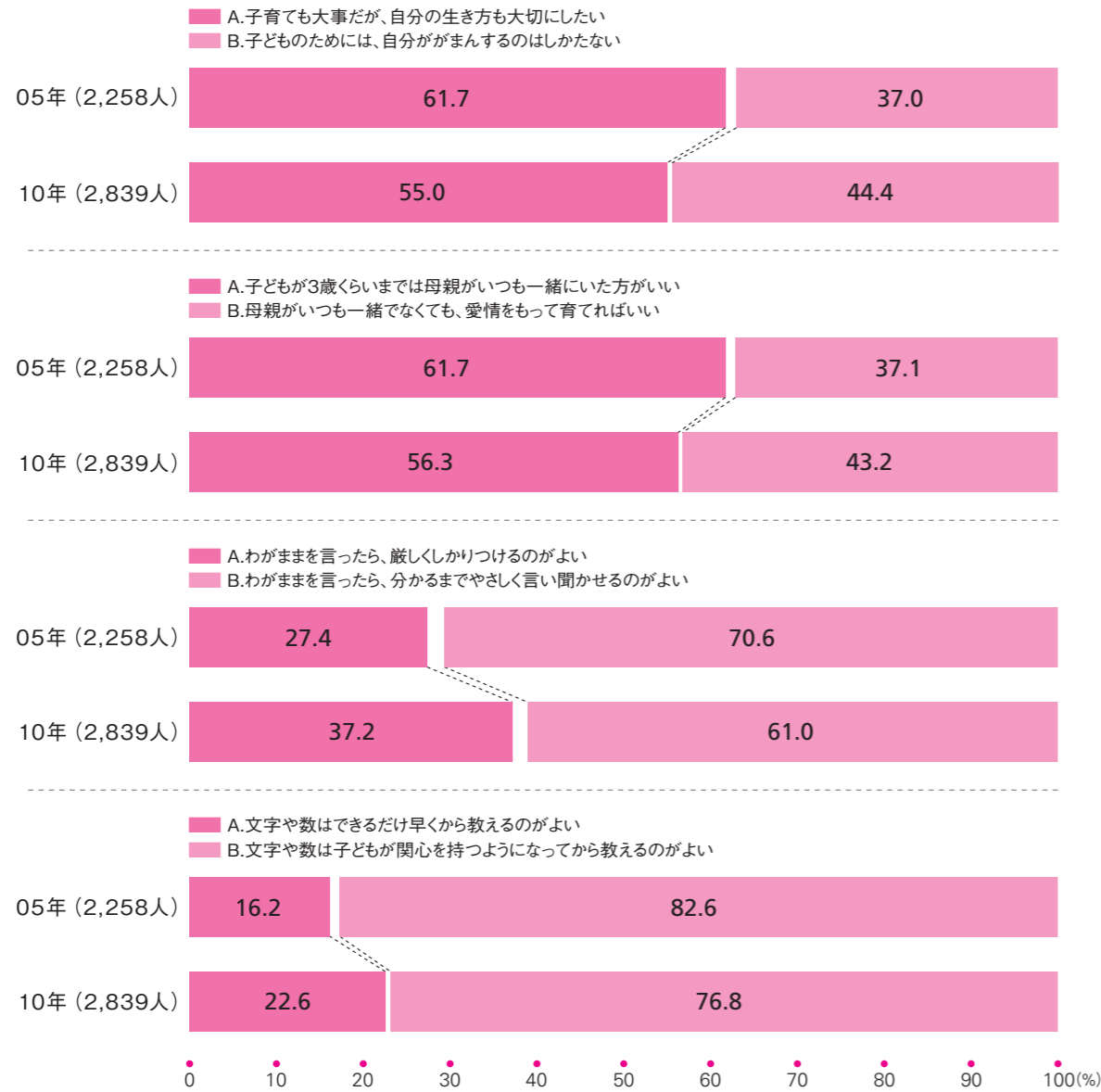
★子育て意識をたずねたところ、5年前から引き続き9割以上の母親が「子どもがかわいくてたまらない」「子どもを育てるのは楽しくて幸せ」「子どもと遊ぶのはとてもおもしろい」と思うことがありと答えています。一方、「子どもがわ

ざらわしくていらいらしてしまう」「子どものことでどうしたらよいか分からなくなる」などの子育てに対する否定的な感情は、5年前より減少しており、子育てへの不安感が弱まってきた傾向がうかがえます。

厳しく叱る意識をもっていたり、 文字・数の学習に熱心な母親が増加している

Q 子育てに関するAとBの2つの意見のうち、あなたのお気持ちに近い方はどちらですか。どちらかといえば近い方の意見に○をつけてください。

図3 母親の子育て意識



注1 無答不明があるため、Aの意見とBの意見の数値を合計しても100%にはならない。注2 母親の回答のみ分析。

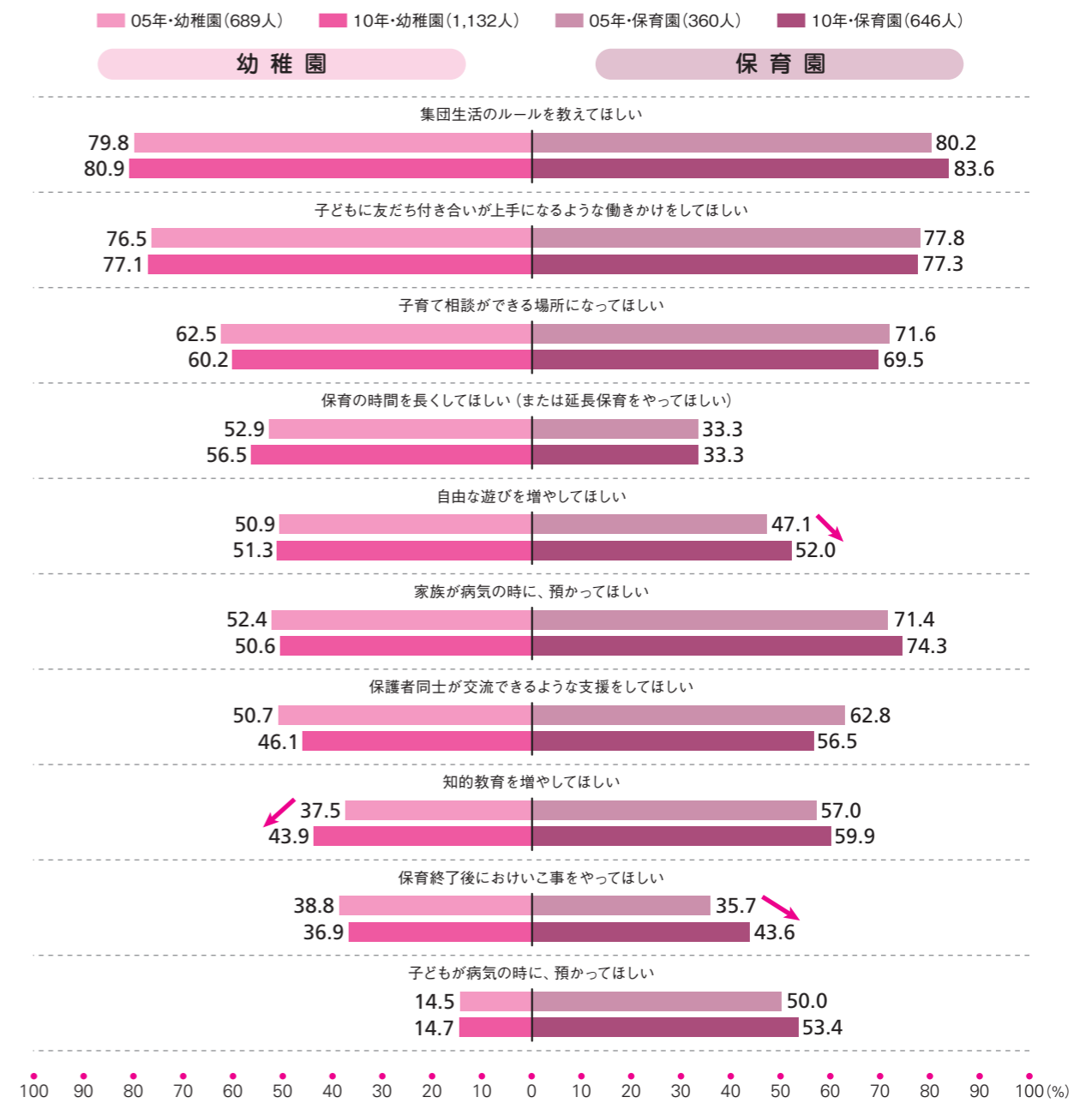
★ここでは、母親の子育て観に関する意識について、5年間で変化がみられたものをご紹介します。少数派の意見ではありますが、約10ポイント増加ともっとも大きな変化がみられたのは、「わがままを言ったら、厳しく叱りつけるのがよい」と答えた比率でした。「文字や数はできるだけ早くから教えるのがよい」と答えた比率も増

加しており、文字や数の学習への意識も高まりつつあるようです。また、「子どものためには、自分ががまんするのはしかたない」「母親がいつも一緒になくても、愛情をもって育てればよい」と答えた比率も増加しており、母親の子育てに対する意識に変化がみられました。

保護者の要望として、幼稚園へは知的教育を 保育園へはおけいこ事が増加している

Q 現在通っている幼稚園・保育園について、あなたは次のことをどう思いますか。

図4 幼稚園・保育園への要望



注1 「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。注2 子どもが通園している母親の回答のみ分析。注3 母親の回答のみ分析。

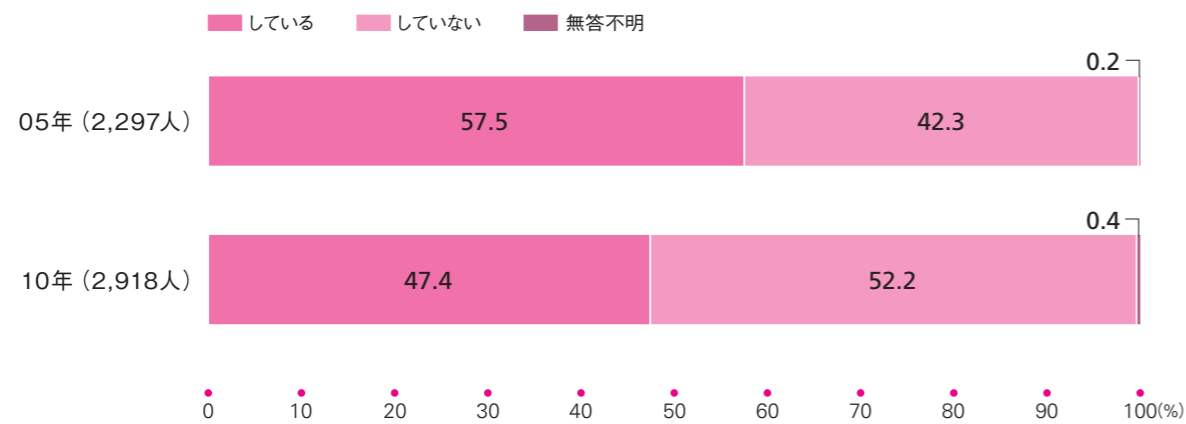
★園への要望を幼稚園・保育園別に集計したところ、5年前と比較して、幼稚園では「知的教育」についての要望が6.4ポイントももっとも増加していました。また、保育園では、「保育終了後のおけいこ事」や「自由な遊び」などを求める声

が増えていきます。一方、幼稚園・保育園ともに5ポイント前後下がっているのは、「保護者同士が交流できるような支援をしてほしい」でした。保護者同士の交流を園に望む人は、5年前より減る傾向がみられました。

習い事をしている人の割合も その金額も5年前より減少傾向

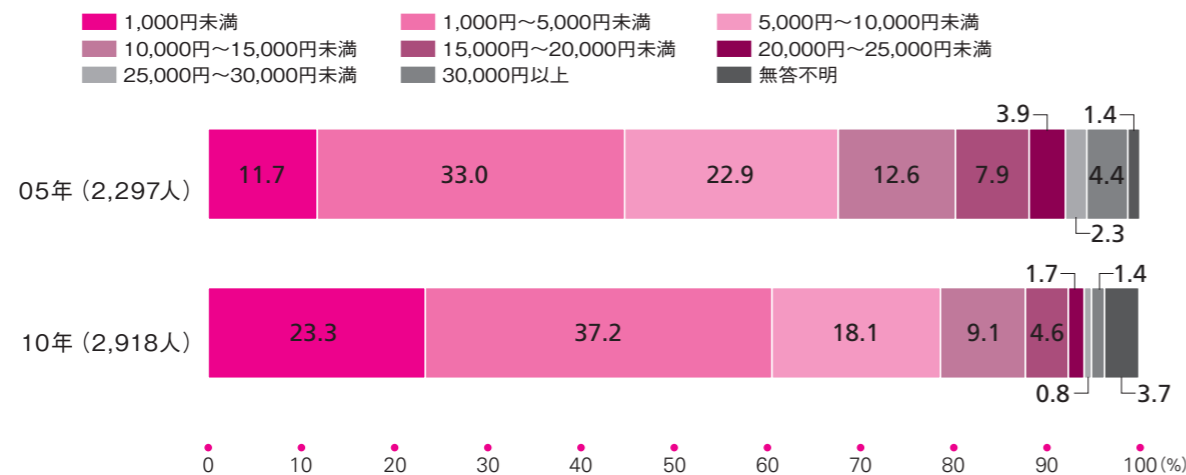
Q お子さまは現在、習い事・おけいこ事をしていますか。
(幼稚園・保育園で有料で習っているものや、塾・通信教育を含みます)

図5 習い事の状況



Q 現在のお子さま1人にかかる
1ヵ月あたりの塾・通信教育・習い事・絵本・玩具等の費用はいくらですか
(幼稚園・保育園で有料で習っているものは除きます)

図6 1人あたりの教育費



★習い事をしている人の比率は、5年前と比較して約10ポイント減っていました。また、習い事・おけいこ事などにかかる金額は「1,000円未満」が約12ポイント増加、ついで

「1,000円~5,000円未満」も増加し、5,000円以上かけるという回答は減少しています。世の中の経済状況の影響が習い事・おけいこ事にもあらわれているのかもしれませんが。

ベネッセ次世代育成研究所からの発刊物のご案内

これからの幼児教育を考える



2010 夏
特集
家庭と連携した食育活動のあり方とは
◎新しい保育所保育指針、幼稚園教育要領でも「食育」の重要性が挙げられています。大澤力先生のインタビューと園の実践事例などから、園と家庭が連携し、子どもが意欲的に食にかかわれる食育活動について考えています。
A4判 24ページ



2009 秋
特集
保育者の資質を高める園内研修とは
◎保育者が自らの保育を振り返り、気づきを得られるような「園内研修」とは？秋田喜代美先生のインタビュー、大豆生田先生のQ&A、園内研修の具体的な手法を実践事例とともに紹介しています。
A4判 24ページ

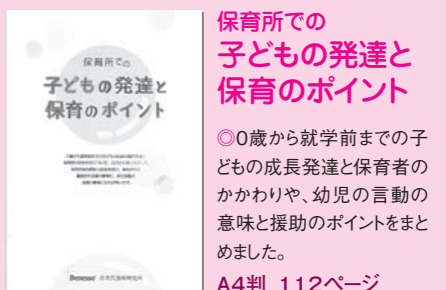
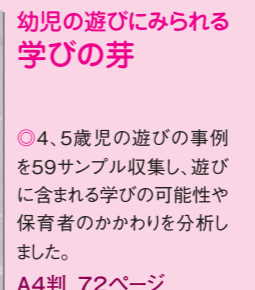
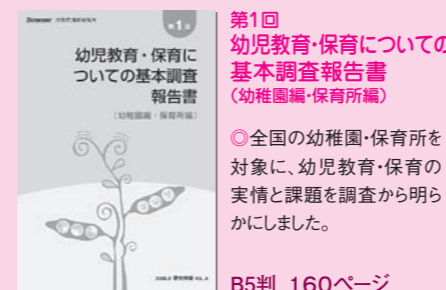


2010 春
特集
保護者の成長を促す園の支援とは
◎園と保護者が互いに協力関係を築き、子どもの健やかな育ちを見守っていくために、園ではどのような働きかけを行うとよいのでしょうか。子安増生先生のインタビュー、公私立幼稚園・保育所の事例を紹介しています。
A4判 24ページ



2009 夏
インタビュー
幼保一体化と新しい幼児教育
◎今後の動きが目される幼保一体化について、その課題や展望を汐見稔幸先生と無藤隆先生の巻頭対談でとりあげます。また、幼保公私さまざまな立場のかたからの寄稿から新しい幼児教育を考えています。
A4判 24ページ

幼児教育・保育に関する発刊物



上記の刊行物はすべてホームページからご覧いただけます。

各種検索エンジンで「ベネッセ次世代育成研究所」と検索してください。

ベネッセ次世代育成研究所

検索

<http://www.benesse.co.jp/jisedaiken/>



編集後記 特別支援・障害児教育を取り上げた今号はいかがでしたか？「幼児期は、誰もがみな気になる存在であるべき」「発達障害の子どもの気持ちを受け入れて育てると、次第に問題行動は少なくなる」という先生の言葉が印象的でした。これからも現場に役立つ情報をお届けするため、みなさまのご意見・ご感想などをお待ちしております。(橋村)

「これからの幼児教育を考える」2010秋号
2010年9月20日発行
発行人 新井 健一
編集協力 (有)ベンダコ/二宮良太
編集人 後藤 憲子
印刷・製本 (株)協同プレス
企画・製作 ベネッセ次世代育成研究所
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
〒101-8685 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング

次号予告
これからの 2011 Spring 春
幼児教育を考える
次号は2011年1月下旬発行(予定)
年3回の発行(予定)です